

U20 世界陸上競技選手権大会（2016／ビドゴシチ）日本代表選手選考要項

1. 目標

前回大会（アメリカ・ユージーン）のメダル数と同等に6個のメダル獲得を目指し、2020年の東京オリンピックで活躍できる競技者を育成する。

2. 編成方針

ジュニアカテゴリーにおけるトップ競技者でチームを編成する。また、ジュニア期の育成過程を配慮し将来性を見込んだ競技者も選考し、シニアカテゴリーの強化につなげられるようにする。

3. 選考競技会

(1) 男女 5000m、男女 3000mSC 以外

- 1) 2016年度高校総体各都道府県予選
- 2) 2016年度高校総体各地区予選
- 3) 2016年度地区学生陸上競技対校選手権大会
- 4) 2016年度地区実業団選手権大会
- 5) 2016年度日本学生陸上競技個人選手権大会
- 6) 第55回全日本競歩輪島大会 男女 10km ジュニア競歩（2016年4月17日：石川）
- 7) 日本ジュニア選手権混成大会（2016年6月11日～12日：長野）
- 8) アジアジュニア選手権（2016年6月2日～6日：ホーチミン）
- 9) 日本選手権（2016年6月24日～26日：愛知）
- 10) 2016日本グランプリシリーズ（2016/神戸・広島・和歌山・静岡）
- 11) ゴールデングランプリ陸上2016川崎（2016年5月8日）
- 12) 2016アシックスチャレンジ 男子 10000m

(2) 男女 5000m、男女 3000mSC

- 1) 2016日本選抜陸上和歌山大会 オープン種目

4. 選考基準

編成方針に基づき、種目別に下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

(1) 男女 5000m、男女 3000mSC 以外

- 1) 選考競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満した競技者
- 2) 選考競技会で、国際陸上競技連盟（以下、IAAF）が定める参加標準記録を満した競技者
- 3) 選考競技会以外の競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満した競技者
- 4) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

(2) 男女 5000m、男女 3000mSC

- 1) 選考競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満した競技者
- 2) 選考競技会で、国際陸上競技連盟（以下、IAAF）が定める参加標準記録を満した競技者
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

5. 選考方法

- (1) 参加標準記録を満した競技者の中から、選考基準に則り強化育成部選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事が承認する。
- (2) 同じ優先順位内での資格記録の比較は、2016年度の記録を優先する。

6. エントリールール

- (1) 参加標準記録の有効期間は2015年10月1日～2016年7月11日までとする。
- (2) 種目毎の代表は、IAAFエントリールールに則り2名以内（エントリーは最大3名）とする。
- (3) 対象者は、1997年1月1日から2000年12月31日生まれまでの競技者。
- (4) 800mまでは、資格記録として手動の記録は認められない。
- (5) 競歩種目の資格記録は、ロードでの記録も認められる。

7. その他

- (1) 選考競技会は、選考会議（2016年6月21日予定）までに終了した競技会までを対象とする。
- (2) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。
- (3) 本大会は、2016年7月19日から24日まで開催される。ただし、大会開催地決定後に開催期日が変更される可能性もある。
- (4) 男女 5000m、男子 10000m、男女 3000mSC の特別レースのエントリールールは、別途定める。

以上